2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	池田分かち合いの会・ひかり
活動テーマ	自死遺族の心の傘に

Ⅰ）目的

1）自死遺族の苦悩を和らげる居場所づくりを行うこと→定期的な分かち合いの開催

2）自死に対する啓蒙啓発、差別・偏見を取り除くことによって社会認識を深める→講演会、団体の新聞発行

Ⅱ）実施方法

1） 分かち合い

・毎月定例会を開催　　・豊中市と池田市で　　・参加者は、10～15 人

・安心して話せる場　　・人と人がつながっていると感じる場　・話すことにより気持ちが「らく」になる

意識改革―自ら閉じこもってた人が、他の人はどのような生き方をしているのか知ったから前向きな姿勢がもてるようになった。

2） 講演会

田中幸子「自死遺族として生きる」　令和 3 年 6 月 19 日

講演会を聞きに来た時と帰る時の表情が違う。生き生きとしてる。

3） 新聞づくり

3 か月ごとに発行

・差別・偏見に対する『生の声を他の人に理解してもらう』

・意識改革

・記事を書くことを通して、自死は社会的に追い詰められた結果であるから単に個人の問題でなく「社会問題」であることに気づいた。

Ⅲ）成果

・一般の人にも広く参加していただくことで、啓蒙啓発、差別・偏見をなくすことができる。

・遠方から新しい人の参加者が増えている。

・広報宣伝により、単独でやるより「必要とする」に伝わる。

・「優しい人が優しいまま生きれる」社会づくりに変化